

# 八学大、八工大 上位狙う

## 氷上インカレH 八戸できょう開幕

第97回日本学生氷上競技選手権（氷上インカレ）アイスホッケー競技の男子ファーストディビジョン（1部）は24日、八戸市のテクノルアイスパーク八戸、フラット八戸の2会場で開幕する。全国8地区を勝ち抜いた14校、前回大会16強の16校、2部優勝校の地区代表1

校、開催地域枠1校の計32校が出場。29日までの6日間、大学日本一の座を懸けて熱戦を繰り広げられる。県勢は八戸学院大と八戸工業大が上位進出を狙う。八戸開催は2年連続10回目。23日は同市スポーツ研修センターで開会式が行われ、日本学生氷上

競技連盟の福田弥夫会長（八戸学院地域連携研究センター教授）が「八戸にはアイスホッケーが大好きな観客が多い。その大声援の中で皆さんが熱い戦いを繰り広げること」を心から期待している」とあいさつ。選手を代表し、関大の山根早加（はやか）主将が「チーム一丸となり最後まで正々堂々と戦う」と宣誓した。大会初日の24日は2会場で1回戦8試合を実施。県勢はフラット八戸で初戦を迎え、八工大は午後2時から専大と、八学大は同4時半から中大と対戦する。

（千葉真由美）